

第6回 ITER機構職員募集説明会(名古屋)でのQ&A

1. 日時・場所

平成20年7月15日(火) 18:30~19:30
名古屋国際センター 5階 第6会議室
〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号

2. 参加者：11名

3. 説明内容

- 1). ITER計画について 芳野隆治 (ITERプロジェクトユニット・ユニット長)
- 2) ITER機構職員公募の面接試験について 安東俊郎 (ITER協力調整グループ・サブリーダー)

4. 説明会でのQ&A

Q1) 公募されているポストで、決まらない場合再募集となるが、その場合は契約期間はどのようになるのか？

A1) 契約期間は、個別に設定されます。最大で5年間です。現在の採用は、ITERが建設期であるので、建設(機器の調達・組立)に関する仕事が多いですが、今後、運転期に向けて、仕事の内容も変わっていくと考えられます。

Q2) 契約の更新は、どのようになるのですか？

A2) まだ、ITER機構は始まったばかりで先例はありませんし、コメントできる立場ではありませんが、一般的に、的確に業務を果たしていれば契約は更新されると推察します。なお、65歳を停年とされているようです。

Q3) 建設期にプラズマを専門とする人が、どのように貢献できるかが不安ですが？

A3) ITER機構は、ITER建設期に、職員がプラズマ物理の研究をする必要はないと考えているようです。その期間に実験や研究を行いたいのなら、ITERの職員になるのではなく、他の方法で実績を積む方が良いと考えます。(コメント: ITER機構は、今後、物理課題を物理タスクとして、ITPAなどを通じて、研究者に打診してくるでしょうから、それに注意することをお勧めします)

Q4) ポストの表示のP3とかG4と言うのは、職位だと思われませんが、詳細内容は公開されていますか。

A4) ITER機構のHPなどにて公開されていません。給与に関しては、直接の雇用関係が無い原子力機構は公表できる立場にありません。